

あぁ、オペラって楽しい！人気作家 林真理子が誘うオペラの世界

マリコとオペラ!

林真理子のトーク・コンサート



©NIPPON COLUMBIA

小林 沙羅 (ソプラノ)



©FUKAYA Yoshinobu

望月 哲也 (テノール)



河野 紘子 (ピアノ)



©新津健秀

浦久 俊彦 (ナビゲーター)



林 真理子 (作家)

2023

1/29 SUN 14:00 開演
(13:30 開場)

ノバホール (つくば市吾妻 1-10-1)

【チケット料金】 全席指定 (税込)

一般 5,000円

TCF メンバーズ 4,800円

小学生以上高校生以下無料 (150席限定・先着順)

※TCFメンバーズ割引は、当日券適用不可

※未就学児の入場はご遠慮ください

※高校生以下無料チケットは、窓口・電話にて受付

※高校生以下無料チケットの方は、入場時に学生証の提示を求められる場合があります

※車いす席をご希望のお客様、介助が必要なお客様は、財団 (029-856-7007) へ

ご相談ください

※お車でお越しのお客様は、有料駐車場をご利用ください

Program

第1部

トーク・ステージ 林真理子さんが語る～本とオペラのある人生

第2部

コンサート・ステージ 林真理子さんがセレクトする～オペラの名曲たち

第3部

クロストーク・ステージ オペラに生きる人たちとの対話

第4部

プレゼント・ステージ

曲目

プッチーニ/歌劇「ジャンニ・スキッキ」より“わたしのお父さん”

プッチーニ/歌劇「トスカ」より“星は光りぬ”

マスカーニ/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲 (ピアノソロ)

プッチーニ/歌劇「ラ・ボエーム」より“冷たき手を”“私の名はミミ”

プッチーニ/歌劇「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”ほか

※都合により曲目が変更になる場合がございます

出演者プロフィール



林 真理子
Mariko Hayashi (Novelist)

昭和29年(1954)4月1日、山梨県に生まれる。
昭和51年(1976)日本大学芸術学部文芸学科を卒業。コピーライターを経て、昭和57年(1982)エッセイ集『ルンルンを買っておうちに帰ろう』を出版。
昭和59年(1984)処女小説『星影のステラ』が直木賞候補に選出されたことを機に、執筆業に専念。
昭和60年(1985)『最終便に間に合えば』『京都まで』により第94回直木賞を受賞。
平成7年(1995)『白蓮れんれん』により第8回柴田錬三郎賞を受賞。
平成10年(1998)『みんなの秘密』により第32回吉川英治文学賞を受賞。
平成12年(2000)直木賞選考委員に就任。他、数々の文学賞の選考委員を務める。
平成23年(2011)レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受賞。
平成25年(2013)『アスクレピオスの愛人』により第20回島清恋愛文学賞を受賞。
平成30年(2018)紫綬褒章受賞。
令和2年(2020)「同一雑誌におけるエッセイの最多掲載回数」としてギネス世界記録™認定。
令和2年(2020)第68回菊池寛賞受賞。

著書

『ミカドの淑女』『女文士』『不機嫌な果実』『着物をめぐる物語』『年下の女友だち』『anego』『アッコちゃんの時代』『ウーマンズ・アイランド』『RURIKO』『下流の宴』『本朝金瓶梅』『秘密のスイーツ』『六条御息所源氏がたり』『野心のすずめ』『正妻』『STORY OF UJI』『ビューティーキャンプ』『我がパラダイス』『西郷どん!』『愉楽にて』『女はいつも四十雀』『綴る女』『夜明けのM』『美女ステイホーム』『小説8050』『李王家の縁談』『奇跡』等



小林 沙羅 Sara Kobayashi (Soprano)

東京藝術大学及び同大学院修了。2010~15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2012年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニスキッキ』で欧州デビュー。また多くの新作オペラ初演を務める他、2015年及び2020年野田秀樹演出『フィガロの結婚』、2017年藤原歌劇団『カルメン』、2019年全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』、同2021年『夕鶴』等話題作に続々出演。2021年12月には姫路市文化コンベンションセンター『千姫』へも出演。2014年、2016年に続き2019年サードアルバム『日本の詩(うた)』をリリース。最近では自身のYouTubeチャンネルにて配信を行うなど、新しい取り組みも始めている。2017年第27回出光音楽賞、2019年第20回ホテルオークラ賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。



望月 哲也 Tetsuya Mochizuki (Tenor)

東京藝術大学卒業。同大学院及び二期会オペラスタジオ修了。文化庁在外派遣研修員としてウィーンで学ぶ。これまで、二期会『皇帝ティトの慈悲』タイトルロールで絶賛を博す他、新国立劇場『夜叉ヶ池』、『魔笛』タミーノ、『アルマゲドンの夢』、びわ湖ホール『ワルキューレ』ジークムント等多くの作品に出演し、いずれも高い評価を得る。コンサートでは、J.S.バッハ『マタイ受難曲』及び『ヨハネ受難曲』エヴァンゲリスト、ヘンデル『メサイア』、モーツァルト及びヴェルディ『レクイエム』等レパートリーは30作品以上にわたり、W.サヴァリッシュ、V.アッシュケナージ、C.デュワ、C.ミョンファン、小澤征爾等著名指揮者や主要オーケストラとも多数共演。ギタリストと織りなす『望月哲也 シューベルト三大歌曲シリーズ』は、2017年に『冬の旅』からはじまり『美しき水車小屋の娘』『白鳥の歌』と好評を得る。CD『Il miotesoro』『Amarilli』『ひそやかな誘い〜R.シュトラウス歌曲集』をリリース。国立音楽大学および大学院准教授。二期会会員



河野 絃子 Hiroko Kono (Piano)

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。これまでに桐朋学園大学声楽科嘱託演奏員、二期会研修所ピアニストとして勤務。アンサンブルに定評があり、「東京・春・音楽祭」、水戸芸術館主催「池辺晋一郎の肖像」に出演。その時の演奏は池辺晋一郎 室内楽作品集Ⅲに収録されている。その他、ソプラノ歌手小林沙羅氏のアルバムなどCD録音にも多数参加。歌曲とピアノソロを交えたコンサートや、映像作品を製作するなど、企画力も高く評価されている。またドラマや映画で話題となった「のだめカンタービレ」の主人公(上野樹里)の手・音の吹き替え、現場での指導を担当するなど多方面で活動の幅を広げている。



浦久 俊彦 Toshihiko Urahisa (Navigator)

文筆家、文化芸術プロデューサー。パリを拠点に文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、三島市文化アドバイザーなど、その活動は多岐にわたる。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敏三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』(講談社)、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』、『ベートーヴェンと日本人』(以上、新潮社)、『オーケストラに未来はあるか(指揮者・山田和樹との共著)』(アルテスパブリッシング)など。最新刊は『リベラルアーツ〜「遊び」を極めて賢者になる』(集英社インターナショナル)。公式ホームページ: <http://www.urahisa.com>

チケット発売

ネット・電話予約

2022年11月19日(土) 13:00~

窓口販売

2022年11月20日(日) 9:00~

チケット予約・販売

ノバホール.....029-852-5881

つくばカピオ.....029-851-2886

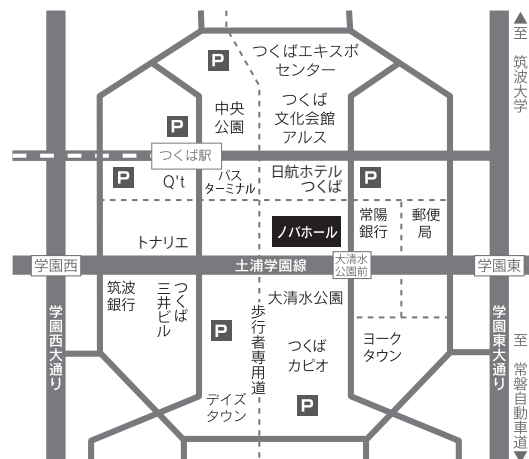
つくば文化振興財団.....029-856-7007

財団ホームページ.....tcf.or.jp



コロナ対策

本公演は、感染対策を徹底して公演を開催します。必ずHPをご確認のうえ、チケットご購入・ご来場をお願いいたします。感染対策にご協力いただけない方は、ご入場をお断りする場合がございます。



ノバホール 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-10-1 (☎029-852-5881)

電車での来場: つくばエクスプレス「つくば駅」下車 A3出口より徒歩3分
車での来場: 最寄りの有料駐車場をご利用ください